



SEASIDE PARK

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

2016年5月30日

H28年度 VOL. 19

小さな金魚たちが創り出す広大な花畑

リナリア 見頃です。  
(ヒメキンギョソウ)



2016年5月29日撮影

少し汗ばむような初夏の日差しが射すこの時期。紫色のじゅうたんのよう広がるリナリアの花畑が、華やかで涼しげな風景を創り出しています。

花の形が金魚のしっぽに似ていることから、和名を「ヒメキンギョソウ」と呼ばれるリナリア。下から花を見上げれば、色とりどりの金魚たちがまるで空を気持ちよさそうに泳いでいるかのようです。

小さな可愛らしい花が初夏の風に揺れ泳ぐ、癒しの風景をお楽しみください。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・浅沼

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

## リナリア (姫金魚草) **今年の見頃: 5月末~6月上旬**

オオバコ科ウンラン属/耐寒性一年草

原産地:北アフリカ、スペイン

草丈(30~40cm)

**花言葉** 私の愛を知ってください。

日本には明治末期に渡来。葉も花も繊細な姿をしています。寒さに強く丈夫で、広域で栽培されています。

属名の学名「Linaria (リナリア)」は、ギリシア語の「linon (亜麻という植物)」が語源となり、細長い葉の形が亜麻の葉と似ていることに由来します。

金魚のような可愛らしい花をつけるキンギョソウ (オオバコ科) という植物があります。リナリアは、その植物より小さな花を咲かせることから、「ヒメキンギョソウ」という和名がついています。



### ひたち海浜公園のリナリア

場所:大草原フラワーガーデン

本数:36万本、面積:約 3,200 m<sup>2</sup>



2016年5月29日撮影

プレスリリース

今 後 予 定

・ラベンダー見頃、ハーブフェスティバル開催!